

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 洛和福祉会	代表者	矢野 一郎	法人・事業所の特徴	「笑顔あふれる花園」という事業所理念を掲げ、第二の家、アットホームな雰囲気を心掛けています。日々の集団・個別レク、月一回の行事の他に食事準備や後片付け等お手伝いをして頂く中で、日常生活における「役割」を感じて頂き、喜びや感謝の気持ちを共有し合える関係性を築いています。
事業所名	洛和小規模多機能サービス花園	管理者	西尾 友希		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	3人	0人	0人	1人	2人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	サービス評価の概要などを、引き続き分かりやすく説明する。また各書類に常勤・非常勤の記載についても継続する。	コロナウイルスが緩和し4年ぶりに対面での運営推進会議の開催ができた。会議では事業所の取り組みについて報告できた。	出来てる点、出来てない点が明確になっていて今後の改善計画も分かりやすく記載されていると思います。チームワークを大切に願っています。	サービス評価の概要などを、引き続き分かりやすく説明する。また各書類に常勤・非常勤の記載についても継続する。
B. 事業所のしつらえ・環境	ウェルカムボードの設置と、「今日は何の日」を継続し、地域の方々が興味を持って、気軽に入っただけのようなしつらえにする。	掲示板を新しいものに買い替えた。毎日「今日は何の日」を更新し続けているが、ウェルカムボードの設置は出来ていない。	入口が少しわかりづらいが、事業所内は利用者さまがいつも楽しそうにレクリエーションしているのが分かる。アットホームな環境を意識されているように感じます。	入口が分かるようなウェルカムボードの設置と、「今日は何の日」を継続し、地域の方々が興味を持って、気軽に入っただけのようなしつらえにする。地域のイベントお知らせなども掲示する。
C. 事業所と地域のかかわり	ウェルカムボードの設置と、「今日は何の日」を継続し、地域の方々が興味を持って、気軽に入っただけのようなしつらえにする。	掲示板を新しいものに買い替えした。毎日「今日は何の日」を更新し続けているが、ウェルカムボードの設置は出来ていない。	掲示板を新しくして頂き「今日何の日？」が見やすくなりました。コロナウイルスが緩和されて地域との関わりも開けてきていると思います。	入口が分かるようなウェルカムボードの設置と、「今日は何の日」を継続し、地域の方々が興味を持って、気軽に入っただけのようなしつらえにする。地域のイベントお知らせなども掲示する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	来年度からはコロナウイルスの規制が緩和していくので、以前と同じような外出行事や地域のイベントへの参加など、積極的に取り組んでいく。	今年度はイベントが再開できた。今宮神社のお神輿を見ること、紅葉の外出行事も開催できた。感染の事も気になったが初詣と花園小学校の餅つき大会に参加出来たことは利用者さまも喜ばれた。	コロナウイルスが緩和され、状況を見ながら外出行事や地域イベントに参加し地域に出向く機会が増えればと思います。チルクレープは印象的でした。	コロナウイルスが緩和されたことでイベントも増えてきている。外出行事や地域のイベントにも積極的に参加する。引き続き、地域の取り組みに協力できるところは協力する。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	対面での会議が再開できるため、地域の方々と情報共有が出来る様、取り組んでいく。中止となった場合でも、書面内容に写真を添付するなど、より分かりやすい、伝わり	新しいメンバーも増え、運営推進会議が開催できている。イベントごとや地域の課題について会議内にて検討した。	分かりやすく事業所内の取り組みについて説明されています。今年度はチルクレープが印象的でした。地域で気になる方の相談や情報共有も行っていたと思います。地域の代表者から課	運営推進会議を通して地域の情報や困りごとなどを共有し積極的に協力していく。

	りやすい内容にする。		題について聞き取りされている事が分かりました。	
F. 事業所の 防災・災害対策	次年度からは、以前の様に事前にお知らせし、出来る範囲で地域の方々にも参加して頂いたり、地域の訓練に参加していく。	事業所内での防災訓練は会議内にて報告した。今年度の訓練は以前の様な実践訓練ではなかったので町内への案内はしていない。以前開催していた地域の消防訓練なども実施がなかった。	今後地域との間でどのような協力関係を築いていけるか考えていく事が大切。いつか起きる南海トラフ地震に備えることが大きな目標。利用者様の安全確保が重要だと思うのでまずは利用者様優先で。	実際に災害が起こったときにどのように対応していくのか、地域とどのように協力していくのか計画をたてて情報共有しておく。引き続き地域の訓練に参加する。